

## 第26回宮城県ホープス団体卓球選手権大会 実施要項

1. 名 称 第26回宮城県ホープス団体卓球選手権大会  
(第39回全国ホープス卓球大会宮城県予選会 兼  
第35回全国ホープス北日本ブロック卓球大会宮城県予選会)
2. 日 時 2021年6月12日(土) 開場 8:30 試合開始 9:30  
※9時までに受付を済ませてください。
3. 会 場 栗原市若柳総合体育館 (アスパル・わかやなぎ)  
栗原市若柳字川南道伝前125-2 TEL 0228-32-7911
4. 主 催 宮城県卓球協会
5. 主 管 登米市卓球協会
6. 後 援 日本卓球株式会社
7. 競技種目 ①男子団体戦 ②女子団体戦
8. 試合方法 ①チームはクラブ単位とし、監督(引率者)1名、~~コーチ1名~~、選手3~4名で編成する。但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。  
②4シングルス・1ダブルス(3番にダブルス)の3点先取で勝敗を決める。  
③ABCかXYZをトスで決め、3名か4名の選手で次のオーダー順序によって試合を行う。

【3名の場合】	1	2	3	4	5
ABCチーム	A	B	BC	A	C
XYZチーム	X	Y	XZ	Y	Z

【4名の場合】	1	2	3	4	5
ABCチーム	A	B	CD	A	C
XYZチーム	X	Y	WZ	Y	Z

④各種目とも、3~4チームの予選リーグ後決勝トーナメントを行う。

注：参加チームが極端に少ない又は極端に多い場合はこの限りではない。  
全試合、1ゲーム11ポイント、5ゲームズマッチで行う。

9. 参加資格 ①選手・監督・コーチは2021年度宮城県卓球協会登録者であること(大会申込締切日までに登録手続き完了者)。選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場チームにおいてしていること。  
なお、詳細は別紙(本大会参加資格)参照のこと。
- ②選手は2009年(平成21年)4月2日以降に生まれた者であること。
- ③登録の単位はクラブとし、同一クラブから複数のチームが出場できる。  
なお、クラブと他クラブの混成チームは認めない。
- ④1つのクラブの選手は全て宮城県の選手登録者であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できるものとする。
- ⑤監督、コーチ、選手の変更・追加は、受付時に変更届を提出すればそれを認める。  
それ以降については認めない。
10. ルール ①現行の日本卓球ルールを適用する。  
②タイムアウト制は適用しない。  
③ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
11. 使用球 日本卓球株式会社 40mmホワイト(プラスチック球)
12. 参加料 1チーム 3,000円
13. 参加料 参加料は当日現金で受け付け時に支払うこと。

14. 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し下記宛に送付すること。  
事務局への持参、FAXでの申し込みは受け付けません。  
〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2番10号1階  
宮城県卓球協会宛 TEL/FAX 022-233-8364

15. 申込締切 2021年5月28日(金) 必着

16. 本大会 \*ロート製薬杯・第39回全国ホープス卓球大会  
期日：2021年8月16日(月)～18日(水)  
会場：島津アリーナ京都(京都府)  
宮城県からの出場枠：各種目1チーム  
本大会参加料：10,000円(出場チームの負担となります)  
\*第35回全国ホープス北日本ブロック卓球大会  
期日：2021年7月30日(金)～8月1日(日)  
会場：岩手県花巻市総合体育館(岩手県)  
宮城県からの出場枠：団体戦各種目2チーム  
：個人戦団体戦登録選手のみ  
団体戦参加料：10,000円(出場チームの負担となります)  
個人戦参加料：2,000円(出場者の負担となります)  
※全国ホープス卓球大会に出場するクラブからは、1チームのみ出場できる。  
ただし、全国ホープス卓球大会に出場・登録された選手は出場できない。  
例：全国大会に同一クラブAが出場した場合は、Bチーム(1チーム)が出場対象  
となり、Cチーム以下は出場出来ない。また、A・Bチームが全国大会に出場  
した場合はCチーム(1チーム)が出場対象となる。

17. その他 ①ゼッケンは2021年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。  
②競技中、万一事故があった場合、主催者側は責任を負いません。  
公益財団法人日本卓球協会「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。  
③会場の設営並びに後片付けにご協力ください。  
④本大会出場権を得たチームは、予選会当日本大会参加料を納入していただきます。  
⑤全国ホープス卓球大会、全国ホープス北日本ブロック卓球大会とも、予選会で敗れた  
チームのメンバーになっていた選手が、同一クラブのチームが代表となったから  
といって、その代表チームメンバーへと変更することはできない。  
⑥この大会の監督・コーチはそのチームの役員登録者であること。同じチーム名の  
A・Bチームの監督・コーチを兼ねる事を認める。

☆この大会に関する問い合わせについて☆

※問い合わせはメールでのみ受付いたします。E-mail：miyagikentaku@gmail.com  
注：携帯電話・スマートフォンの場合は、miyagikentaku@gmail.com からのメールを受信できることが必要となります。

## 第39回全国ホープス卓球大会参加資格

- ①選手・監督・コーチは2021年度（公財）日本卓球協会に登録したものであること。選手は選手登録、監督・~~コーチ~~は役員登録を出場する都道府県の出場チームにおいて登録をしていること。監督・~~コーチ~~は必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
- ②選手は2009年（平成21年）4月2日以降に生まれたものであること。
- ③登録の単位はクラブとし、同一クラブから複数のチームが出場できる。なお、クラブと他クラブの混成チームは認めない。
- ④1つのクラブの選手は全て同じ都道府県の選手登録者であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できるものとする。
- ⑤監督（引率者）は協会に役員登録されているチームの代表者で責任のもてる人であること。
- ⑥予選会で敗れたチームのメンバーになっていた選手が、同一クラブのチームが代表となったからといって、その選手を代表チームメンバーへと変更することはできない。
- ⑦監督、コーチ、選手の変更、追加は、監督会議の終了までに届を提出する。監督会議後の変更は認められない。

## 第35回全国ホープス北日本ブロック卓球大会参加資格

- ①選手・監督・コーチは2021年度（公財）日本卓球協会に登録した者であること。  
選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場する道県において登録をしていること。  
監督・コーチは役員章を大会時、腕に付けること。
- ②選手は2009年（平成21年）4月2日以降に生まれた者であること。
- ③第37回全国ホープス卓球大会に出場・登録された選手は出場できない。
- ④登録の単位はクラブとする。なお、クラブと他のクラブの混成チームは認めない。  
同一クラブから複数のチームが出場できるが、第39回全国ホープス卓球大会に出場するクラブからは1チームのみ出場できる。
- ⑤1つのクラブの選手は、全て同じ都道府県の登録者であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できるものとする。
- ⑥監督（引率者）は、協会に登録されているチームの代表者で責任の持てる人であること。
- ⑦予選会で敗れたチームのメンバーになっていた選手が、同一クラブが代表となっても、その選手を代表チームメンバーへと変更することはできない。